

# 事務事業チェックシート

事務事業No 363 事業名 育児支援事業(こんには赤ちゃん事業、新生児訪問の実施)

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	3	母子保健事業の充実

事業種別	継続		
事業期間	永年		
事業実施の根拠法令	和歌山県特定不妊治療費の助成に関する規則、和歌山県一般不妊治療等の助成に関する規則		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	地域保健課	松浦 英夫	488-5120
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		母子衛生費	
	大事業		母子衛生事業	
中事業		不妊治療対策事業		

## 1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にするための事業か (こんには赤ちゃん事業) すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつける。 (新生児訪問) 生後28日以内の新生児期及び妊産婦の家庭を訪問し、新生児及び妊産婦に保健指導を行い、健康の保持増進及び育児支援を図る。		全体事業概要 (こんには赤ちゃん事業) 原則として生後4か月を迎えるまでの、すべての乳児のいる家庭を事業の対象とし、保健師・助産師・看護師・保育士の資格を有する訪問員が家庭を訪問する。 (新生児訪問) 新生児訪問希望者と低体重児に対し助産師が家庭訪問し、保健指導を実施する。				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
こんには赤ちゃん訪問 出生届出時に回収した「こんには赤ちゃん出生連絡票」に基づき、訪問員が家庭訪問を実施し、育児や産後の生活などの相談を受け、子育てに関する情報提供を行った。 新生児訪問 新生児のいる家庭を訪問し、保健指導を行い、健康の保持増進及び育児支援を図った。		こんには赤ちゃん訪問 出生届出時に回収した「こんには赤ちゃん出生連絡票」に基づき、訪問員が家庭訪問を実施し、育児や産後の生活などの相談を受け、子育てに関する情報提供を行った。 新生児訪問 新生児のいる家庭を訪問し、保健指導を行い、健康の保持増進及び育児支援を図った。	こんには赤ちゃん訪問 出生届出時に回収した「こんには赤ちゃん出生連絡票」に基づき、訪問員が家庭訪問を実施し、育児や産後の生活などの相談を受け、子育てに関する情報提供を行った。 新生児訪問 新生児のいる家庭を訪問し、保健指導を行い、健康の保持増進及び育児支援を図った。	こんには赤ちゃん訪問 出生届出時に改宗した「こんには赤ちゃん出生連絡票」に基づき、訪問員が家庭訪問等を実施し、育児や産後の生活などの相談を受け、子育てに関する情報提供を行う。 新生児訪問 新生児のいる家庭を訪問し、保健指導を行い、健康の保持増進及び育児支援を図る。	こんには赤ちゃん訪問 出生届出時に改宗した「こんには赤ちゃん出生連絡票」に基づき、訪問員が家庭訪問等を実施し、育児や産後の生活などの相談を受け、子育てに関する情報提供を行う。 新生児訪問 新生児のいる家庭を訪問し、保健指導を行い、健康の保持増進及び育児支援を図る。		

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	7,244	6,571	6,988	6,399	7,136	8,696	7,136		7,136	
伸び率(%)	-	-	▲3.5%	▲2.6%	2.1%	35.9%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	14,462	14,325	14,005	12,879	13,434	13,814	14,564			
正規職員	1,072	1,338	1,202	1,893	3,155	1,693	2,431			
正規職員以外	15,534	15,663	15,207	14,772	13,589	15,507	16,995			
小計	4,267	3,359	4,267	3,265	4,267	4,647	4,267		4,267	
国庫支出金	4,267	3,359	4,267	3,265	4,267	4,647	4,267		4,267	
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	-1,290	-147	-1,546	-131	-1,398	-598	-1,398		-1,398	
所要人数(人)	1.94	1.88	1.88	1.62	1.69	1.73	1.83			
正規職員	0.55	0.61	0.61	0.86	1.43	0.75	1.07			
正規職員以外										
主な予算内訳	報償金6,471千円、通信運搬費179千円、手数料118千円、傷害保険料222千円 等									

## 3 目標及び実績

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)
活動指標 こんには赤ちゃん訪問件数(率)	%	100	62.5	62.5%	100	63.3	63.3%
		100	67.7	67.7%	100	601	60.1%
		600	607	101.1%	600	597	99.5%
活動指標 新生児訪問件数	件	600	607	101.1%	600	597	99.5%
		600	601	100.2%	600	601	100.2%
		75	71.4	95.2%	75	68.9	91.9%
成果指標 安心して育児が出来ている人の割合	%	75	71.4	95.2%	75	68.9	91.9%
		75	77.6	103.5%	75	77.6	103.5%
		75	77.6	103.5%	75	77.6	103.5%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	訪問実施率や未実施者に対するアンケートや訪問時の対象者のニーズ等に基づき評価を行う。
見直し・改善内容	こんにちは赤ちゃん事業については、医療機関や関係機関にも事業周知依頼し、事業が市民に浸透するように努める。